

令和5年10月6日

保護者様

柏市立土中学校
校長 井上 隆広

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析結果について

この度令和5年度全国学力・学習状況調査の分析を行いましたので、概要をお知らせします。なお調査対象は、本校3学年生徒が対象となっております。なお1・2年生対象の学力・学習状況調査は、11月27日(月)に調査実施を予定しております。

記

1、本校の調査結果概要及び分析の結果

国語	正答率を全国平均と比較した場合、本校生徒の平均正答率は、全国を上回っています。また、領域別・観点別においても全ての項目で、全国を上回っています。一方で、古典における知識を問う問題での無回答率が多いことが課題です。そのため、古典の既習事項の復習を授業内に取り入れていきます。
数学	基本的な計算や関数では、本校の平均が全国平均を上回っており、知識・技能の習得がよくできているといえます。一方で、図形や統計領域では、全国平均を下回っており、知識・技能をより深く理解し、思考・判断・表現につなげる「活用問題」に課題が見られました。今後は、知識・技能を深く理解するために自分の言葉で用語を説明したり、身近な課題に活用したりする機会を授業に取り入れていきます。
英語	本校生徒はどの領域・観点別においても概ね、全国平均正答率を上回っております。特に状況に応じて情報を読み取ったり、聞き取ったりするような問いを得意とする生徒が多いという結果が出ています。対話形式の題材を苦手とする傾向にあるので、今後はテーマを絞って授業に取り入れていきます。また、既習の文法を活用する力は、全体的に全国平均を上回っています。

2、今後の改善策等

学習で得た知識をアウトプットするパフォーマンステストの実施や、発表物の作成、プレゼンテーションなど思考し、表現する場面を授業内で増やしていくことに全校で取り組んでいきます。

3、個人票について

3年生には、個々の結果を掲載した個人票の配布を行いました。各教科について、学習内容ごとの解答状況が表示されていますのでご覧ください。